

『関西探偵／捕物作家クラブ会報』集成

—戦後占領期の大衆文化

監修・解題一

石川 巧（立教大学） 金子 明雄（立教大学）

川崎 賢子（立教大学） 小松 史生子（金城学院大学）

谷口 基（茨城大学） 浜田 雄介（成蹊大学）

山口 直孝（二松学舎大学）

造 本一

B5・並製・総約1,200頁

揃 価一

75,000円（配本毎・別冊分売可）

原本提供—立教大学江戸川乱歩記念大衆文化研究センター

野村恒彦（うみねこ堂書林）

メリーランド大学図書館ゴードン W・プランゲ文庫

【第一回配本】2023年8月 配本揃価43,000円 ISBN978-4-910363-95-0

・第一巻(280頁)

- ・『探偵小説ニュース』第1号～第4号（1946年8月～47年10月）
- ・『関西探偵小説新人会々報』第1号（1948年2月）
- ・『関西探偵作家クラブ会報』第2号～第39号（1948年3月～51年5月）
- ・『探偵小説を愉しむ会会報』第1号～第4号（1948年3月～49年4月）

・第二巻(270頁)

- ・『関西探偵作家クラブ会報』第40号～第79最終号（1951年6月～54年11月）
- ・『日本探偵作家クラブ関西支部会報』第1号～第14号（1954年12月～56年7月）

【第二回配本】2024年2月 配本揃価32,000円 ISBN978-4-910363-96-7

・第三巻(200頁)

- ・『日本探偵作家クラブ関西支部会報』第15号～第57号（1956年8月～60年8月）

・第四巻(332頁)

- ・『日本探偵作家クラブ関西支部会報』第18号～第77号（1960年10月～63年5月）
- ・『日本探偵作家クラブ関西支部会 財務処理完了報告書』（1963年11月）
- ・『捕物作家クラブ会報』第1号（1951年8月）
- ・『捕物作家クラブ会報』第1号～第13号（1953年10月～56年9月）
- ・『小説の華』第4集 捕物特輯号（八千代書院、1949年、6月）

・別 冊(約200頁/A5・並製) 4,000円（別冊のみ分売可）ISBN978-4-910363-97-4

解題、総目次、インタビュー記事

〈「私と関西探偵作家クラブ」田村 良宏〉（聞き手 野村恒彦・木村仁／編集 戸川安宜）

石川巧 監修・解題

『探偵新聞』

—占領期のカストリ・探偵小説関係新聞

【全1巻+別冊】

A4/A5判 並製 総302頁 ¥19,500

2021年刊【復刻版】

大尾侑子 編・解題

カストリ雑誌考【完全版】

【全1巻+別冊】〔僅少〕

A5判 紙上製函/並製 総352頁 ¥20,000

2018年刊【復刻版】

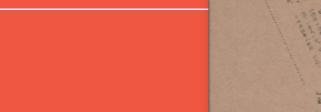
石川巧 編・解題

海軍外郭団体雑誌『くろがね』

【全3巻+別冊】

A5判 紙上製函/並製（別冊のみ） 総860頁 ¥63,000

2018～19年刊【復刻版】



文庫文献類従 90 書誌・出版史・書物メディア史のシリーズ

『関西探偵

解題

石川 巧/金子 明雄/

川崎 賢子/小松 史生子/谷口 基/

浜田 雄介/山口 直孝

捕物作家クラブ会報』集成

全4巻+別冊
[編集復刻版]

—戦後占領期の大衆文化

占領期・戦後期から1960年代に至る
関西探偵作家クラブの活動の
全貌に迫る貴重な資料となる会報

『関西探偵作家クラブ会報』

第1号から第78・79合併号までの
全73冊に加えて、同時期の探偵小説や
大衆文化に関連する資料と、

江戸川乱歩と野村胡堂の絆を軸として、

1949年7月に結成された捕物作家クラブの
会報『捕物作家クラブ会報』

全14冊を集成。さらに、

「読売新聞社・探偵小説を愉しむ会」
の『会報』全4冊。

自由出版株式会社が組織した

書籍・雑誌の購買組織である

DS読書会の会員に送られた

PR誌『DS news』全4冊を

併せて収録した。また、1957年に

関西探偵作家クラブに入会し、

関西を中心に活動した

ミステリーファンクラブ『TSRの会』

でも活躍した田村良宏氏の

インタビューを貴重な

同時代の証言として併せて収録。

合流並に乱歩氏
選脅祝 特集

金沢文庫閣

